



かけがえのない時間

【校長 太田 謙二】

清々しい初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってまいりました。

新型コロナウイルスの感染症のため、全国に出されていた緊急事態宣言が解除になり、5月最終週の3日連続の登校日を経て、今日、6月1日から教育活動が再開されました。始業式もできず、授業参観・懇談、家庭訪問、遠足など予定されていた行事がすべて中止となり、これからの予定もまだ、不透明な状況です。本来であれば、1学期も半ば過ぎという時期ですが、今日から本当の意味でのスタートと言えます。

休業期間中、ずっと不要不急の生活を強いられてきて、子供たちは、ずいぶんストレスがたまったことだと思います。保護者の皆様には、長期間、各家庭でご対応、ご協力いただき誠にありがとうございました。

子供たちは、これまで学校へ来て、クラスの仲間と学習や活動をしたり、休憩時間に遊んだり、給食を食べたりすることが当たり前だと思っていたはずですが。その当たり前のことが当たり前ができない苦しさ、つらさを感じたと思います。私にとっても、今まで経験したことの無い時間でした。



だからこそ、仲間とともに学校生活を送れることの喜び、楽しみ、これからの一瞬一瞬、一日一日がとても貴重でかけがえのない時間であると思います。みんなが待ち望んでいたように、中之島小学校の先生たちも、これまでの期間、子供たちと学校生活をともにできることを楽しみに、しっかりと準備をしました。さあ、今日から素敵な時間をつくっていきましょう！



まだまだ、普段通りの学校生活とはいきませんが、いろいろなことに注意しながらも、その中でできることを思いきりやり、楽しみ、成長していった欲しいと願います。

保護者の皆様、地域の皆様、引き続きご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。